

留学を終えて

岐阜北高等学校 三石 小雪（カナダ）

初めに私の留学を支えてくださった岐阜県教育委員会の皆様にお礼申し上げます。11カ月のカナダ留学は私にとってとても意義のある充実した経験でした。この留学の実現にあたって中学、高校の先生方、家族、友達にとっても助けられ、改めて私は人に恵まれているのだと感じました。この貴重な経験を終えた今、私のすべきことは留学で得た知識と経験をこれからの人生に生かすことで、今の私ならそれができると確信しています。



カナダでの生活は当然のことながら日本での生活とは全く違い、良くも悪くも驚かされることばかりでした。私は11カ月の中で転校と2回の引っ越しを経験し、CollingwoodとOwen Soundというところに配属されました。どちらも田舎よりの、のどかで自然豊かな町でした。私を受け入れてくれたホストファミリーの方たちと乗馬体験をしたりハイキングをしたりしましたが、このようなアクティビティはカナダの自然を感じられる素敵な体験でした。

カナダでの生活で大半を占めたのはやはり学校での生活でしたが、それは今までにないくらいとても楽しいものでした。クラスは選択制で1学期の中で4つの教科を選ぶことができたので、古代の歴史やカナダと世界の法律など、自分が興味を持ったことを学べてとても楽しかったです。また、私が一年を通して受けたドラマクラスは日本の学校には絶対ないようなユニークな授業で、アドリブの即興劇をし、グループでシーンを作り上げるなど、英語でのコミュニケーション能力と瞬発力が鍛えられる、すごくためになった授業でした。私の場合は運良くすぐ友達を作ることができたので、休日に一緒に課題に取り組んだり、お泊り会を開いたりして楽しい時を過ごしました。学校で私が一番違いを感じたのは生徒たちや先生方のイベント行事に対する熱意です。パジャマデーにはみんなパジャマを着て学校に登校し、ハロウィンの日には生徒だけでなく先生たちも仮装をして登校していて、こんなに自由な感じなのかと衝撃を受けました。

2つ目の学校では私も学校のイベントを企画するクラブに参加しました。どのイベントがみんなで楽しめるかということを考えることはとても楽しかったです。英語で話すことが今より難しかった初めのころは自分の言いたい事が言え

ず、やるせなくなつて孤独を感じる事が多々ありましたが、その気持ちを救ってくれたのはやはりこのようなフレンドリーで温かい周りの人たちでした。学校生活は基本楽しむことを目標とし、新しい友達をたくさん作りたかったので

たくさんのクラブ活動に参加しました。特に 2 つ目の学校ではクラブ活動が盛んで、4つのクラブを兼部し毎日忙しい生活を送っていました。その一つは環境問題などを扱う Eco team というクラブで「気候変動による生物多様性を維持するために私たちにできること」をテーマとした大会に挑戦しました。1 か月間みんな



準備した甲斐があり、見事に地区優勝、州で 8 位という結果を残すことができました。この大会のプレゼン発表や実技テストでは自分の今までやってきたことを生かすことができました。自分もこのチームの一員として貢献できているのだと実感したときは、この上ないほどの喜びを感じました。環境関連で、私は ER teens というボランティア団体



にも参加しました。その地域で自分には何ができるかを企画しそれを実行するというものでしたが、私はフードロス問題に着目し、なるべく廃棄が出ないようなレシピを考え、友達と一緒にカレーを作りました。このプロジェクトを完成させるにあたり、先生方にアドバイスをもらい協力していただきました。このように、自分でやりたいと思ったことを全力でサポートしてもらえる環境は心強く、とても感謝していますし、自分で考えたことをやり遂げたことで自分に自信をつけることができました。

カナダで得た経験は日本ではできないことばかりで、すべてが特別な宝物です。これらの経験をこれからの人生に活かしていけるように頑張っていきます。

